

令和元年

ヴィレッジ

開発&進化セミナー

The Development Method
to create Company Village

AIとデジタル時代だからこそ、
求められるのは、
**リアルな世界観の発信、
コミュニティ、体感の場。**



“今”だけではなく、未来に残り
発信するヴィレッジを提案します。
「見えない未来を観て、提案する!!」

令和元年9月3日（火）
東京学士会館にて開催



株式会社 S-Yワークス

〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町一丁目2-25 仙台NSビル8F
TEL:022-722-2007(平日9:00~17:30)
FAX:022-722-1770
URL: http://www.syw.jp 担当: 葛西・高橋

未来に恋しよう。

S-Y WORKS CO., LTD. RECRUITING SITE

講座時間	講座名	講師
【受付開始】12:30～ ※開場前の入室はお断りさせて頂いておりますので、ご了承下さい。		
第一講座 13:00～14:00	進化するヴィレッジ 「開業後、どのように進化するのか」 ■顧客の参加性と巻き込みによる、ファン客・生涯顧客化 ■コンセプトの上位概念化と、各施設・機能の進化軸 ■進化で新しく加える、施設・機能	株式会社S・Yワークス 常務取締役 経営コンサルタント 葛西 孝太郎
第二講座 14:10～15:20	これからのヴィレッジ開発 「世の中にはない、しかし我々の頭の中にある」 ■新しいヴィレッジに必要な要素、取組み～新しい要素の提案 ■自社だけでなく“地域”をブランド化する取組み ■生産者、企業、顧客を一体化するヴィレッジの仕組みと取組み	株式会社S・Yワークス 常務取締役 経営コンサルタント 葛西 孝太郎
第三講座 15:30～17:00	理想の未来とヴィレッジでつくるブランド 「これからのマーケティング ～顧客を幸せにする」 ■理想の未来を描く～グランドデザイン ■良い記憶を集積させる機会と場の創造 ■これからのブランド創造	株式会社S・Yワークス 代表取締役 経営コンサルタント 佐藤 芳直

担当講師紹介



株式会社S・Yワークス
代表取締役
経営コンサルタント
佐藤 芳直
YOSHINAO SATO

1981年早稲田大学商学部を卒業後、株式会社日本マーケティングセンター（現株式会社船井総合研究所）に入社。20代から一躍トップコンサルタントとして第一線で活躍。1994年、当時の上場企業最年少役員に就任。2006年3月、同社常務取締役を退任。同年4月に株式会社S・Yワークスを設立、代表取締役就任。「経営の目的は永続にあり」の哲学のもと、“百年企業の創造”を提唱し、35年のコンサルティング実績は約4,000社に及ぶ。



株式会社S・Yワークス
常務取締役
経営コンサルタント
葛西 孝太郎
KOTARO KASAI

食品業界や観光業、サービス業をはじめとし、様々な業種・テーマのコンサルティングを行い、企業の業績向上に取組んでいる。特に食品メーカーの支援と新ブランド開発を得意とし、新業態開発に携わり、数多くの成功を取っている。まちおこしのブランディングや“農”をテーマとした六次産業化に関わる仕事にも取り組んでいる。

概要	■ 令和元年9月3日(火) 13:00～17:00(開場13:30～) ■ 料金 38,880円(税込)
会場	【学士会館】 ■住所: 〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28 ■TEL: 03-3292-5936(代表)
申込み方法	同封のお申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。 FAX申込み用紙を確認しましたら、S・Yワークスの担当者よりお電話をさせていただきます。 (ご請求書が必要な場合は、その際にお申し付け下さい) その後、ご入金を確認できましたらお申込み完了となります。
注意事項 【重要】	【キャンセルポリシー】 セミナー申込み後のキャンセルのお申し出がある場合は、開催日の7営業日前(8月23日(金))以降のご連絡は、ご参加費用の50%、当日及び無断欠席は参加費用の100%をキャンセル料として申し受けますので予めご了承下さい。※お申し込みが必要人数に達しない場合、セミナー中止とさせていただきます。その場合8月14日(水)までにお知らせいたします。
お振込み先	みずほ銀行 仙台支店(店番号:723) 普4326931 口座名義:株式会社S・Yワークス (注:SとYの間に「・」ではなく「_」ピリオドが入ります) ※なお、お振込み手数料はお客様負担とさせていただきます。

世の中にはない。しかし我々の頭のなかにはある!!

最新の提案内容公開!!

時代のその先・・・ トキ、エンを育むヴィレッジへ 未来からの要請に応える

ヴィレッジは中心軸を守りながら、常に未来に向かって進化し続けなければならない。
今後開発するヴィレッジは、今ではなく未来に求められる要素を展開していく。

現状

今の時流は未来でない
未来を見つけること

- ・人口の縮小、地方の過疎化
- ・商圏の縮小
- ・高齢者人口の増加
- ・労働力不足、働き方改革

理想の未来

目指すべき企業ブランド像

現状の延長線上の計画や今当たっている内容では将来すぐに劣化してしまう。

既存市場ではなく、**新規需要**を創造する

世界観

理想の未来を予見する!
・社会、環境
・人の価値観、欲求・希い
・暮らし方、生き方
→未来に対応する商品&サービスをヴィレッジで表現する。

<AIにできない事への取り組み>

- 憧れと先進性
- よい記憶づくり
- ホスピタリティ

- ・本物、上質化、成長したい
- ・体験を重ねた「エデュケイテッド」カスタマー
- ・集いたい、コミュニケーションしたい。
- ・好きなブランドを応援したい。

プラス要因にどう対応するか

関係性参加性

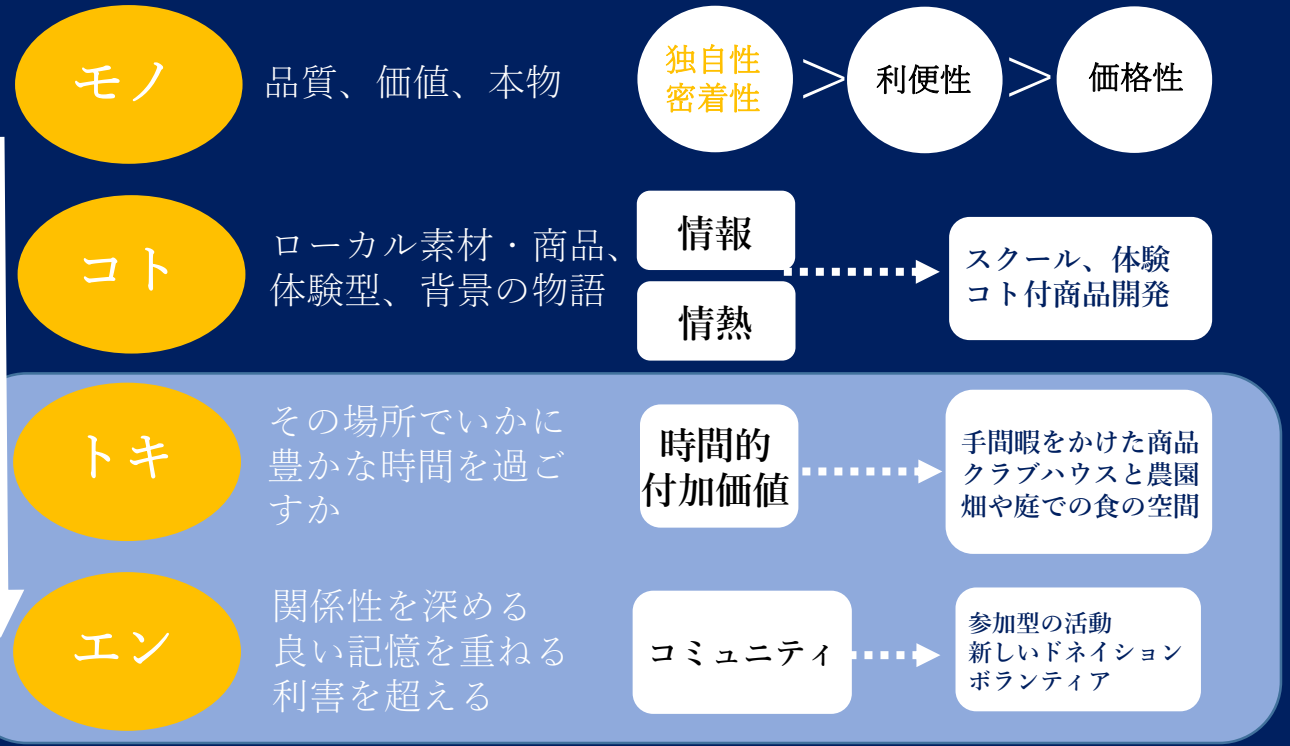
企業、お客様、地域の一体化
⇒利害関係でなく、「**同志的結合**」をつくる場

新しいヴィレッジ

市場を創造するヴィレッジ
～関係性を創造、顧客を創造、憧れと記憶を創造

進化したお客様の姿がブランドになる。
今ないお客様の喜びがブランドになる。

人間の欲求として、次に求めるのは?
お客様の進化に何をするか?



- ヴィレッジ開発プロセス
- STEP1 ・理想の施設・理想の関係、お客様の進化軸をつくり、導く。
 - STEP2 ・他社にやられて嫌なことは何か考え、それに取り組む。
 - STEP3 ・声を通さずに、伝える取組みをつくる。キーワード「風を感じる」
 - STEP4 ・顧客参加性の入口をつくる。
 - STEP5 ・共にそこで残る記憶を最善化、縁を生み出す機会と場づくりをする。

今なお進化し続けるヴィレッジ

進化中1 八海醸造 魚沼の里

2013年の開業以来、次々と新しい施設が付加展開。コンセプトからぶれることなく、進化し続けています。昨年は、ビールを製造販売するブルワリーを開発。アルコール文化を発信し続けています。

進化中2 白ハト食品工業 なめがたファーマーズヴィレッジ

2015年の開業後、グランピング施設等を付加。各種体験・スクールプログラムを強化し続けています。トキ、エンへの取組みを行い、顧客と地域から支持されています。

“最新ヴィレッジ計画の紹介”

開発中1 A県X社 本社工場のヴィレッジ開発

農業 水産業 製造支援 体験学び 関係性参加性

生産者・企業・お客様を結びつける“場”と“縁”をつくるヴィレッジです。農業&水産業との六次化地域素材をプロデュースして、地域のブランド化も図っています。

開発中2 C県Z社 県産の新しいブランド創造

地域食材の付加価値化 豚肉、ハムソーセージ、チーズ、ベーカリー

ファクトリーストア + ジム 美と健康

国内新業態店舗への商品共有を行うと同時に、海外への輸出展開も視野に入れて開発しています。